
プロローグ

目が覚めたら白いタイル張りの部屋にいた。

どうなってるんだ。おぼえている限りでは23時過ぎたぐらいに明日配信のクリエイティブの入稿を終えて、先日やめた同僚の引き継ぎ案件のレポートをチェックしたらむちゃくちゃ。罫線は引いてないし多重参照ばっか。あげくページによっては集計値がべた書きしてある。

「短い間でしたがお世話になりました。皆様とのお仕事は楽しく、成長に繋がりましたが、もう少しワークライフバランスのある仕事をしたいと、退職を決意しました」

そんな退社の挨拶でやつは失笑を買っていた。おれに言わせれば残業しないといけないのはExcelのスキルが低いからだ。

おれは違う。社内ではExcel職人として頼られている。頼られているがゆえに日中はどいつもこいつもわからないことがあったらググりもせずにおれのところにやってくる。こっちは集中して仕事を進めたいというのに広告主からのどうでもいいような確認の電話、上司の雑談、そして同僚たちからのExcelのヘルプ依頼で日中はまるで自分の仕事が進まない。必然的に毎日仕事を終えるのは深夜になってしまう。つまりExcelが得意でも残業をしないとけないということだ。しかもそれだけ周りに頼られ、遅くまで働いているというのに俺の給料は同僚たちと変わりやしない。

「レポートは丁寧だし、パソコンのスキルで頼られてるのもいいんだけどね。やっぱりクライアントとのコミュニケーションでアップセルしてくれないと会社としては評価あげられないんだよ」

査定の度に上司には無慈悲にそう言われている。Excelができてでも残業が増えるばかりで年収は上がらないということらしい。どこかに純粋にExcelのスキルで評価してくれる職場はないだろうか。ときどきそう考える。

ところでここはどこなんだ。白い長方形のタイルがどことなくExcelのセルに見えてしまう。職業病だろうか。いやExcelのことはいい。

頭を抱えていたら変なおっさんが部屋に入ってきた。なにが変かといえば、服装が明らかに変だ。腕まくりした白い格子柄のシャツに緑色のネクタイを締め緑色のズボンをはき、同じく緑色のジャケットを肩にかけている。そのおっさんが同じスーツを差し出して言う。

「着替えろ、お前が死ぬまで着るスーツだ^{※1}」

展開的にもしやこれは異世界転生ってやつで、神様がチート能力を授けてくれるのかと思っていた。しかし、やってきたのはおっさんだし、セリフはMIBでウィル・スミスがスーツを渡されたときののだ。死んだわけではないようだ。ならそんなものの着る気はない。

「いやです。ここから出してください。仕事が残っていて戻らないといけません」

この期におよんで仕事に戻らないと、とは我ながら社畜だ。自嘲気味にそんなことを考えていると、おっさんは少しだけ神妙な顔をして言った。

第1章 | worker研修

| File 01 | 初クエスト

「クレア、クエスト頼むわ」

workerたちが休憩していたのは通称詰め所。その一角にあるカウンターで、サイトウは奥にいる女性に話しかけた。クレアとよばれた彼女は詰め所で休んでいるworkerの女性と違いスーツを着ていない。かわりに着ているのは白に薄い緑の入ったいわゆるメイド服だ。銀髪のショートヘアに羊のツノのようなアクセサリーをつけている。まわりのworkerたちは日本人ばかりだったが、クレアだけは日本人ではないようだし、どこか現実離れたアニメのキャラが現実にやってきたような風貌だ。

「はいはい、手配しますね。そちらは新人さんですね。はじめまして、わたしはマネージャーのクレアです。今日からよろしくでーす」

「は、はじめまして、タカハシです。本日からお世話になります」

見かけは外国人だがあまりにも流暢な日本語に面食らってしまった。マネージャーとはどういう立場なのだろうか？ 上司にしてはサイトウの態度はぶっきらぼうだ。どちらかという運動部のマネージャーみたいなものなのかもしれない。彼女もExcel職人なのだろうか。クレアは手元のパソコンを操作し、サイトウに見せる。

「ちょうどいいやつがありました！ これなんかどうでしょう？」

「商業高校の実習か、いいじゃねえか。そんじゃいってくるわ」

「いってらっしゃーい」

明るく手を振るクレアに見送られ、おれとサイトウは階段を降りた。クエストがどんなものか、少しワクワクしてきた。扉を開けたら突然草原が広がっていたりするのだろうか。それともSF映画のようにワープで送り込まれるのか。そんな期待に胸膨らませたおれが行き着いたのは、Excelカラーの車が並んでいる駐車場だった。この世界はなににつけても未来的でもなければ、ファンタジー的でもない現実的なところがあるようだ。

クエストまではサイトウの運転で2、3分だった。駐車場の端からトンネルのようなものがつながっていた。トンネルの脇にはところどころ扉がついており、そのひとつの前でサイトウは車を止めた。扉の横にはよく見ると「1oxIUGE2twqhkBNszJ1buA9gS2bf4b2wF07GVCoLdzXw」という札が書かれている。サイトウはスマホの画面とその札の文字を照らし合わせ、確認した。クエストのIDなのだろう。

「ここだな。覚悟はいいな？」

「はい……、大丈夫です」

扉を開いた先は畳ぐらいの大きさの長方形のタイル、というかセルが終わりが見えないほど並んでいる部屋だった。おいおいマジでこれスプレッドシートじゃねえか。

VLOOKUP関数の

ココがポイント！



あ、あー。マイクテスト、マイクテスト。おつかれさまです。タカハシです。クレアさんにworker養成のためのビデオを撮るって言われてきたけど、このカメラに向かって喋ったらいいんでしょうか。

突然連れてこられてよくわからないクエストやらされたかと思ったら今度はYouTuberみたいな仕事をさせるなんて、この世界はいったいなんなのか。ま、いいか。

本日は僭越ながらVLOOKUPとINDEX/MATCHについて解説させていただきます。イノウエさんがVLOOKUPを使うのは初心者なんてこと言ってましたが、そのあたりの誤解を解ければ幸いですね。

VLOOKUPを使う例

さてVLOOKUPといえば、転職の面接で「Excelはどのくらいできますか？」「VLOOKUPぐらいは使えます」というやりとりが成り立つと言われるほど重要な関数です。

雑誌の調査で人気関数1位に選ばれたという話もありますし（日経ビジネスアソシエ2015年10月号「エクセル関数人気ランキング」）、VLOOKUPだけを解説した本も売られています。まさにVLOOKUPはExcel職人の始まり、ともいうべき関数ですね。

たとえば、請求書の宛名を記入するのを効率化してみましょう。

【図 1.1 請求書の宛名】

| | | |
|-----------|------------|--------------|
| 株式会社技術評論社 | | 会社名 |
| 〒162-0846 | | 郵便番号 |
| 東京都新宿区 | 市谷左内町21-13 | 住所 1 住所 2 |

図1.1のように会社名を入力すると、郵便番号、住所1、住所2が自動で入る
VLOOKUP関数を書いてみます。

最初に「マスタ」を準備します。マスタとはマスターデータの略称で、顧客
マスタ、商品マスタ、社員マスタといったように情報を整理したデータのこ
とです。

VLOOKUP関数は情報を検索して取り出す関数ですが、最も一般的な使い方は
「マスタから情報を検索して取り出す」ことだと言っていいでしょう。「会社マ
スタ」という名称で別シートを作成し、図1.2のように入力しておきます。

【図 1.2 会社マスタ1】

| | A | B | C | D |
|---|-----------|-----------|----------|------------|
| 1 | 社名 | 郵便番号 | 住所1 | 住所2 |
| 2 | 株式会社美術評論社 | 〒673-0854 | 兵庫県明石市 | 東朝霧丘3-11 |
| 3 | 株式会社武術評論社 | 〒640-8203 | 和歌山県和歌山市 | 東蔵前丁3-6-1 |
| 4 | 株式会社技術評論社 | 〒162-0846 | 東京都新宿区 | 市谷左内町21-13 |
| 5 | 株式会社呪術評論社 | 〒920-0917 | 石川県金沢市 | 下堤町3-19-18 |

第2章 | 広告業界

| File 03 | SUMIF否定主義者タカハシ

「くっ、SUMIFのやろう、許せねえ！ 全員ぶっ殺してやる！」

ジブリ映画に出てきそうな手の長い人型クリーチャーを前に、おれは感情をあらわにしていた。

おれとサイトウ、それからなぜかイノウエは当面古巣の広告業界のシートを担当することになった。

懐かしい風景。Google、Yahoo、Facebook、これをdataシートに貼り付けて、日別/クリエイティブ別/ターゲティング別とSUMIFSで集計表が作られている。会社ごとにテンプレートが異なるし、関数の使い方もシートの全体構成も異なる。

workerのおれから見ても美しいなと思えるような、見通しもよく、効率的に作られたシート。dataシートには完璧に名前付き範囲¹⁾が定められていて、SUMIFSの条件の順序もすべてが完璧なルールでできている。こういう仕事²⁾がしたかったね。

かたや見ていて危うさしか感じられないシート。集計範囲の指定はA2:A1000みたいに行が制限されている。こういうシートを作っていると、元データが1,000行を超えたときに間違った集計値をクライアントに提出するハメになる。集計値の集計を繰り返し、多重に参照。なにも知らずに引き継ぐと、ひょんなところでエラーが出てしまい原因を探すのに時間がかかって

しまう。

しかしそんなものは序の口。なんにも関数が出てこないな、ヒマだなと思ったからおそろしいことに生のデータをベタベタ打ち込んでいるようなシートにもお目にかかる。効率が悪くユーザーは苦勞しているはずだが、おれたち worker はヒマである。

そんなことより SUMIF だ。こんな関数を誰が使うのかと思っていたが、意外にも使われている。なぜ SUMIFS を使わないんだ。

SUMIF と SUMIFS は、VLOOKUP と INDEX/MATCH みたいなそれぞれのメリット/デメリットがあるような関係性ではない。SUMIF は端的に言って SUMIFS の下位互換なのだ。SUMIF は一つの条件でしか集計ができない。対して SUMIFS は一つ以上の条件で集計ができる。これだけで SUMIF を使う理由はない。

しかし最もイライラするのは記述順序が逆になっていることだ。SUMIFS の記述様式は次のようになっている。

`=SUMIFS(合計範囲, 条件範囲1, 条件1, [条件範囲2, 条件2, ...])`

条件が複数続く場合は、[範囲n, 条件n] と続ければよい。一方 SUMIF はこう。

`=SUMIF(範囲, 条件, [合計範囲])`

解説が必要だろう。まず合計範囲が任意だ。これがそもそも気に入くない。指定されていない場合は、範囲がそのまま合計される。ふたつの記述方式が両立しているようでとっつきにくい。そして合計範囲を書く場合で条件がひ

これからExcel/Googleスプレッドシートを学ぶ人へのガイドス



こんにちは！ マネージャーのクレアです。

今日はわたしからExcel職人になるための参考書籍や勉強方法を紹介します。ExcelやGoogleスプレッドシートのような表計算ソフトが使いこなせれば仕事が早く片付いて定時にも帰れるし、どんな職場でも周りから頼られること間違いなしです！

MOSでExcelの基本を学ぶ

Excelの基本を解説した本は、書店のパソコンコーナーを見ればたくさんありますし、インターネット上でもブログやYouTubeの動画まで解説コンテンツが多々あります。でも、たくさん情報があると意外と迷って困っちゃいますよね？

そこでわたしのオススメは、マイクロソフトオフィススペシャリスト、通称MOSを受けることです。MOSはマイクロソフトが認定するオフィスソフトの資格で、Excelのほか、WordやPowerPointなどの科目もあります。もちろんExcelは資格がないと使えないソフトではありません。でも資格をとろうとするとソフトの使い方を一通り網羅的に知ることができるので、いまからExcelをはじめたい！ という人は書店で参考書や対策本を買ってぜひ勉強してみてください。試験自体は受けずに、本を読んで勉強するだけでも悪くないでしょう。

MOSでExcelの機能をひとしきり知っていると、Googleスプレッドシートでなができるかについてもだいたい把握することができるでしょう。

ちなみにMOSにはスペシャリストとエキスパートの2つのランクがありますが、Excel職人を目指すなら、ぜひエキスパートまでの取得を目指してくださいね！

- **MOS公式サイトーマイクロソフト オフィス スペシャリスト**

<https://mos.odyssey-com.co.jp/>

インターネットで調べながら実践

MOSで網羅的に学習ができれば、あとは実践あるのみです。職場で使われているExcelファイルに書かれている関数を見てみたり、業務効率化のために新しいファイルを自分で作ってみながら、関数について学びましょう。使ったことのない関数に出会ったら、インターネット上で検索すれば解説記事はたくさん出てきます。

インターネット上のブログや動画は、いろいろな方が工夫をこらしてわかりやすくExcelやGoogleスプレッドシートについて解説しています。新しい関数について知ろうと思った時、そういったものを参考にするのはとても有益です。しかし誤った情報が記載されていることもありえますし、個人の意見や解釈が含まれるものもあります。

そこで重要なのは公式のヘルプを参照することです。

- **Excelヘルプセンター**

<https://support.office.com/ja-jp/excel>

- **Googleスプレッドシート ヘルプ**

<https://support.google.com/docs/topic/9054603>

公式のヘルプは必ずしもわかりやすいものではありませんが、網羅的で正確な情報が書かれています。個人のブログや動画である程度の理解を得たら、公式の情報を参照して正しい情報を確認すると良いでしょう。